

だいがくせい
大学生による
たぶんかきょうせい
「多文化共生のまちづくり」
ほうこくしょ
ワークショップ報告書

テーマ：「わたしたちが住みたい、
たぶんかきょうせい ちばし
多文化共生のまち千葉市は〇〇なまち！」

にちじ へいせい ねん がつ にち ど
日時：平成27年11月7日（土）
13：30～16：00

ばしょ ちばしこくさいこうりゅう かいぎしつ
場所：千葉市国際交流プラザ会議室



ちばし そうむきょくしちょうこうしつこくさいこうりゅうか
千葉市総務局市長公室国際交流課

1 はじめに

千葉市ではこのたび、多文化共生社会の実現に向け、本市在住・在学の外国人留学生及び日本人大学生のみなさんに、将来住みたい多文化共生のまちづくりについて、自由に意見を出し合い、理想のまちについて話し合っていたいただくワークショップを開催しました。

今回は、「わたしたちが住みたい、多文化共生のまち千葉市は〇〇なまち！」をテーマとし、部分的に「ワールドカフェ」の手法を取り入れて行いました。

みなさんには、4つのグループに分かれていただき、時には笑いが起こり、時には真剣に、2時間半の長時間に渡って熱心に話し合っていました。その結果を、ここにご報告させていただきます。

なお、この報告書は、千葉市が各種施策・事業を検討する際の貴重な資料とさせていただきます。

ご参加いただきましたみなさん、並びに開催をご支援くださったみなさん、誠にありがとうございました。

2 参加者

(1) 参加して下さったみなさん 18人

<出身>

大韓民国	1人
中華人民共和国	6人
日本国	6人
ブルガリア共和国	1人
ベトナム社会主義共和国	3人
マレーシア	1人

※五十音順です。

(2) 支援して下さったみなさん 3人

千葉市国際交流協会 通訳ボランティア (英語) 3人

3 ワークショップの流れ^{なが}

- 1 ^{かいかい} 開会
- 2 ^{しゅさいしゃあいさつ} 主催者挨拶
- 3 ^{しょうかい} スタッフ紹介
- 4 ^{じこしょうかい} 自己紹介、^{せんしゅつ} ホスト/ホステス選出
- 5 ^{ちばし かん} 千葉市に関するプレゼンテーション
- 6 ^{だい} 第1 ラウンド「^{たぶんかきょうせい} 多文化共生のまちってどんなまち？」
- 7 ^{せきが} 席替え（^{べつ} 別のテーブルに^つ 着きます）、^{きゅうけい} 休憩
- 8 ^{だい} 第2 ラウンド「^{ちばし} 千葉市って^{たぶんかきょうせい} 多文化共生の^{おも} まちだと思う？」
- 9 ^{せきが} 席替え（^{もと} 元のテーブルへ^{もと} 戻ります）、^{きゅうけい} 休憩
- 10 第3ラウンド
「^す わたしたちが^{たぶんかきょうせい} 住みたい、^{ちばし} 多文化共生のまち千葉市はこんなまち！」
- 11 ^{そうかつ} 総括
- 12 ^{けっかはっぴょう} 結果発表
- 13 ^{へいかい} 閉会



4 各グループの意見

※なるべく原文を生かして記載しています。(一部修正あり)

(1) 第1ラウンド「多文化共生のまちってどんなまち？」

【Aグループ】

- ・楽しい
- ・外国の服を気軽に楽しめる
- ・外国の料理が食べられるまち
- ・他の言語で書いてある説明書きがある
- ・としよりがやさしいです
- ・出身国や人種を考えずに、自然にふれあうまち
- ・有名なスポットがある
- ・言葉の壁をなくす！
- ・(交通における)安全で便利だ
- ・留学生をサポートしてくれる(大学などで)
- ・交流の場を多くする
- ・お互いに交流できる場所を作る！

【Bグループ】

- ・感謝
- ・いい意味で Going my way
- ・交流する機会が自然と生まれる
- ・多文化の環境にいても自分の個性を忘れない
- ・人への思いやりを忘れない
- ・お互いの「違い」を尊重できる
- ・絆
- ・identity(主体性、個性)
- ・家族
- ・愛
- ・Equality(平等、対等)
- ・多国籍のお店がたくさん
- ・笑顔が絶えない
- ・言語が通じなくても、気軽に生活できる町
- ・新鮮
- ・将来路
- ・縦・横のつながりが強い！！
- ・Respect(尊敬、尊重)
- ・外国人がいる
- ・相互理解
- ・気軽にいろいろな言語が飛びかう
- ・寛容
- ・多言語の道
- ・異国雰囲気を感じられる道
- ・☆優しさ☆
- ・地元と感ぜられる道

【Cグループ】

- ・色々な国籍の人が住んでいる
- ・お祭りが多いまち
- ・多言語のまち
- ・自分の国の文化について理解している
- ・外国人に差別しないまち
- ・日本人の友だちがたくさんつくれるまち
- ・それぞれが孤立していない
- ・自分の国ではタブーとされている文化を理解できる
- ・法律が整備されている
- ・互いを尊敬する気持ちを持つ
- ・積極的に行動・発言などができる
- ・外国籍の人と交流する機会がある
- ・異文化に触れる機会が多い
- ・自分の国の文化を紹介することができる
- ・宗教について理解を示す

- いろいろな外国語が勉強できる
- マイノリティーも安心して暮らせる
- 自分の文化や生活スタイルをキープできる
- 年の差なんて気にしない
- いろいろな料理を食べることができる

【Dグループ】

- Difference places for cultural exchange (文化交流のための様々な場所)
- いろいろな文化を体験できる場所
- ベジタリアン・ハラールに対応している
- 旅行案内は外国語でもっと詳しく書くこと
- 店員さんが外国人
- Information for local hobby possibility sports culture (地域での、スポーツや文化などの趣味の情報)
- From Japanese ↔ Foreigners To (日本人 ↔ 外国人)
- さまざまな言語の標識がある
- バドミントン場が多いまち、つまり運動整備が多いまち
- Recognition of different groups of foreigners (外国人の異なるグループの認識、認知)
- 住んでいる外国人にどんな人がいるかを知ってもらう
- 現在住んでいる街がボコボコなので、平たくてきれいな道路のまち！！

(2) 第2ラウンド「千葉市って多文化共生のまちだと思う？」

①こんなところが多文化共生のまち

【Aグループ】

- 電車で
- 留学生が多い
- 水がキレイ
- 治安がいい
- 電車で流れた英語でのお知らせ
- 日本の踊りを無料で体験できたこと。
- 外国人留学生に千葉県についての情報誌をくれること
- I have been to a performance of traditional Japanese dances for free. It was very interesting. (日本の伝統的な踊りの披露に無料で行ったことがあるが、あれはとても面白かった。)
- Chiba municipality gives a set of information on Chiba prefecture in foreign languages. (千葉市は外国語で千葉県の情報を一式くれる。)

【Bグループ】

- 留学生多い！ やったネ！
- Friendly(友好的、親切)な人が多い！
- 交通の便が豊富

【Cグループ】

- 大学の周りで見かけた外国人が日本のママチャリに乗っている
- 経済的な活動は多言語で対応できる！
- メニューが多言語

【Dグループ】

- 住む場所
- 街がきれい(過ごしやすい)
- みどりが豊富
- 静かな地方♡
- 英語で書かれている

②こんなところが多文化共生のまちじゃない

【Aグループ】

- 偏見
- 相互理解が足りない気がする
- There are interesting events it would be very useful to receive a bit information in English(面白そうなイベントがあるので、それについて英語での情報があればとても便利。)

【Bグループ】

- お店が少ない
- 外国人の店員が多くない
- 外国語表記少
- だけど……わかりにくい(T_T)
- 電車の車内アナウンス

【Cグループ】

- 看板表記が不十分
- 生活の面では多言語サービスが足りない！
- 横浜や新大久保のような多言語を感じられるところがない

【Dグループ】

- 日本人市民が外国人市民のことをあまり知らない
- 旅行する場所
- 免税店があってほしい
- ステレオタイプで外国人を見てしまう
- 外国人なんだから～、日本語知らないから～と思って相手にしないことがある
- 外国人好きな運動場所がない

(3)第3 ラウンド「わたしたちが住みたい多文化共生のまち千葉市はこんなまち！」

【Aグループ】

- 韓国料理が安い ・ 優しい街 ・ みんなで自由に集まれる
- 千葉市からのイベントあるいはお祭りなどのお知らせが多言語メッセージで届く
- アパートやマンションなど、住んでいるところの活動が多め
- 他国料理イベントを行う。食文化を通してお互いに触れ合う！

【Bグループ】

- More English!(もっと英語を!) ・ 自文化理解 (文化⇒その人の価値)
- More Stores!(もっと店を!) ・ More Festival (外国の祭りを広げる)
- ステレオタイプをなくす→他国を理解する第一歩

【Cグループ】

- いろんな国の文化を体験できる ・ “個人”として互いを尊重する
- 外国籍の人が気軽に入れるお店がたくさんある ・ 法整備されている
- いろんな国籍の人が一緒に働ける環境 ・ 国籍関係なく知り合う機会がある
- 日本のルールやマナーを教える場所がある ・ 外国人と交流できる
- 外国人の立場になってものごとを考える ・ 外国人を見ただ目で判断しない
- 日本のいろんなところにまでボランティアに行ける

【Dグループ】

- 外国人に親切 ・ **意** ・ 外国人の存在になれるように
- Everywhere possibility to learn 漢字(漢字を学ぶ機会を至る所に)
- 日本語で話せるクラブ ・ 日本人と交流できる場所(外国人向け)
- Possibility to learn Japanese language and culture from elderly people.
They have time(高齢者から日本語や日本文化を学ぶ機会を。彼らは時間がある)

(4) 結論「わたしたちが住みたい多文化共生のまち千葉市は〇〇なまち！」

※模造紙に記載されたものを転記していますが、必要に応じて発表者の言葉を「発表のキーワード(補足)」として掲載しています。

【Aグループ】

コミュニケーションが活発で元気なまち！

「コミュニケーションをする」ということを重ねていく



自然とあいさつできる間柄に！



それまで抱いていた偏見やステレオタイプのものを払拭することができる



多文化共生につながる！！

【Bグループ】

積極的なまち！

文化を「吸収」するだけでなく「発信」する！

→理解するための行動 日本語を話せない人たちへの対応

発表のキーワード：異文化理解する前にまず自国の文化を理解する

ステレオタイプをなくすことが異文化、他国を理解する第一歩になる

日本人がもっと積極的に自分の文化を発信する

それが相手の文化を、相手を理解するための行動につながる

【Cグループ】

One for All, All for One (ひとはみんな、みんなはひとりのために)なまち！

One = 日本人&外国人 文化のちがい

発表のキーワード：日本人は外国人の力になったり、手伝ったりしてほしい

お互いの当たり前を分かり合うことから理解しあって友達に

【Dグループ】

交流できるようなまち！

お互いに理解できる 例：外国人と日本人の活動が増えるように

発表のキーワード：ひとりひとりのコミュニケーションは一番重要

就職、買い物、手続きなど、全てにおいてコミュニケーションは基本